

令和6年度第9回藤沢市市民活動推進委員会 議事録

1 日 時

2025年(令和7年)2月7日(金) 午前10時～午前11時39分

2 場 所

ウェブ開催

3 出席者

(1) 委員 12人

山岡委員長、坂井副委員長、大場委員、鍛地委員、関野委員、新實委員、西村委員、
笛木委員、藤田委員、細沼委員、水戸委員、森田委員

(2) 事務局 5人

森主幹、増田課長補佐、緒方専任上級主査、伊佐治主任、土倉職員

4 議 題

- (1) ミライカナエル活動サポート事業協働コースの審査結果について
- (2) 令和6年度市民意識調査の結果について
- (3) 令和6年度取組結果について
- (4) 令和7年度藤沢市市民活動支援施設の重点取組目標(案)について
- (5) その他

5 開催概要

開会

(山岡委員長) おはようございます。それでは、ただいまから、令和6年度第9回藤沢市市民活動推進委員会を開会いたします。

初めに、委員会の成立状況のほか、傍聴者の状況などについて、事務局よりお願いいたします。

○事務局から、委員会成立の報告が行われた。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

議題（１）ミライカナエル活動サポート事業協働コースの審査結果について

○事務局から、ミライカナエル活動サポート事業協働コースの審査結果について説明が行われた。

（山岡委員長）それでは、今の事務局の説明について、ご意見や確認等ございますでしょうか。今年度は委員全員が部会員というちょっと特殊な形なので、この二次審査の結果は皆さん全員ご承知かと思えます。改めて確認等あればお願いいたします。いかがでしょうか。——皆さんお聞きいただいていますので、特になければよろしいかと思えます。では、以上で議題（１）を終了いたします。

議題（２）令和6年度市民意識調査の結果について

○事務局から、令和6年度市民意識調査の結果について説明が行われた。

（山岡委員長）それでは、今の事務局の説明について、確認しておきたいことなどあるでしょうか。

（森田委員）調査項目について、委員の意見をたくさん入れてくださってありがとうございました。よりわかりやすく捉えられたかなと思えます。

報告のされ方でちょっと気になったのが、13 ページの参加の頻度のところで、今回、「会費の支払いで参加」と「定期的ではないが、行事に参加」が新設されています。2点ありますが、1点は、「会費の支払いで参加」はあまりアクティブではない参加ということで、「参加していない」に近いのかなと思うと、色も青になっているので、本来だったらそれを動かして、赤がより参加に近いという順番で内容に合ったグラデーションにしたら、視覚的にもっとわかりやすいのかなと思いました。「参加していない」の次が「会費の支払いで参加」で、「定期的ではないが、行事に参加」と「年に数回」というのはどちらか議論があるかもしれませんが、あるいはこの2つを前に出してもいいのかなというのが1点です。

もう一点は、「参加している」のくくりの中に「会費の支払いで参加」と「定期的ではないが、行事に参加」が入っていないことについて、選択肢で「参加」と書いてあるので、回答した方が、会費の参加や行事の参加は参加に当たらないのかと、参加のハードルを上げてしまったりしないかなということが懸念されます。もしそうであれば、説明書きに「今回は定期的な参加を『参加している』という意味にした」と書いていただくか、個人的には行事に参加というのも十分参加なのかなと思うので、そこを入れても

いいのかなと思いました。ただ、この時点で大幅な変更はちょっと難しいかもしれないので、今後の意見の1つとして考えていただければと思います。

(山岡委員長) 分類の仕方というか、どこまでを参加とするかということだと思います。もし事務局から何かあればと思いますが、多分、定点観測的にというか、令和3年もその基準で参加としていて、比較するためにそろえているということですよ。

(事務局) そうということになります。ご回答される方が、あまりハードルを上げずに回答できるようにというところもありまして、今回から会費の支払いも参加という形で新たに加えた部分もあります。一方で、定点観測の意味合いもあったものですから、今回こういった形で調査結果を出させていただきました。

ただ、森田委員からグラデーションなども含めてお話しいただいたので、次回また行くときにはご意見を参考にさせていただければと思います。ありがとうございます。

(山岡委員長) 調査項目や表現が少しずつ変わっていますから、それに合わせて報告の仕方も変えていく必要があると思います。

ほか、いかがでしょうか。

(鍛地委員) 報告ありがとうございます。今ご説明いただいた中で、45 ページの(6)

「市民活動団体に期待することの内容」のところですか。ことしから項目を加えていただいた「社会課題や地域課題に関する情報を発信してほしい」というのが一定数、非常に期待値が大きい一方で、「行政では行えない柔軟なサービスを提供してほしい」、「地域課題を解決してほしい」、「社会的な問題を解決してほしい」は前回よりも下がっているということで、結構大きな違いがあるかと思いますが、ここはどのように分析されているのか気になりました。

ぱっと見、一番上の項目はそれなりに多い数字があるので、一般市民の方々が地域課題に関心があるように見えて、しかし解決してほしいというところは逆に数字が下がっているのが、相反しているように思ってしまったのですが、わかる範囲で分析とか状況などを教えていただけたらと思いました。

(山岡委員長) いかがでしょうか。事務局でもし何かあれば。

(事務局) こちらの回答結果については、事務局としてもこの回答をどのように受けとめるべきなのか、もちろん、回答は回答として、事実としてありますが、「情報を発信してほしい」というのは今回新たに加えた項目です。ほかの設問項目でも、情報発信とか、内容がわからないとか、情報に関する課題感が多くあり、そのため1位に入ってきた部

分もあるとは思いますが。

一方で、「行政では行えない柔軟なサービスを提供してほしい」のニーズがほぼ半減という形でポイントが下がっていることについて、どのように受けとめて、これに対してどう対応するのかというのは、こちらの調査結果は先日出たばかりで、各担当のほうでも考えていかななくてはいけないということで、議論を始めなければいけないという必要性を認識したところでございます。

この後3月に、来年度の市民活動推進の施策にひもづく取り組みを委員会の場でお示ししますが、それを考えるに当たっても、今回の調査結果全体を踏まえた内容にしたいと考えておりまして、委員の皆様からも、この結果を見て、来年度はこういったことに取り組むべきではないかとか、今こういったところに課題感があるから、もうちょっとこういう方法にしたほうがいいのか、こういう内容にしたほうがいいのかというご助言などをいただければ幸いです。

(鍛地委員) この前段の参加されない理由のところでも、社会課題がわからないとか、情報が届き切っていないのかなというのは私も感じたので、もしかしたら次の段階では広報の仕方とかが課題なのかと、勝手ながらイメージしたところではあります。

(山岡委員長) なかなか難しいところですね。これは複数回答じゃないですか。アンケート調査では、説明をよく読まないで、単回答だと思って1個つけて、次の質問に行ってしまうというのはよくあることです。そう考えると、新たに設けた選択肢を選んだ方が多かった結果かもしれません。そんなこともあるので、本当にこれが市民の変化を反映しているかどうかは、少し慎重に考えないといけないかなという気はいたします。

(関野委員) 今回の結果として、私どもが一番危機感を持たなきゃいけないと思うのは、「市民活動に期待することがない」という言い方がされているのかなというところです。44 ページの結果で、前は「期待することがある」が 47.7%、それが今回は 30.8%と、ここの変化も相当に大きいと思っています。

今回、比率としては、48 ページの「期待することがない理由」で、「身近に市民活動団体がないから」が若干ふえたこと以外はそこまで大きな変化はないのですが、「その他」が 6.2%で、具体的なことをおっしゃっているかと思います。その内容は今ここでわかりますか。一番参考にすべき内容はここら辺かと思っているのですが。

(山岡委員長) 事務局でもし何かあれば。いかがでしょう。

(事務局) ご意見ありがとうございます。「その他」の自由記述で書いたところについて

は、結果が出たばかりということで、まだ把握し切れていない部分があるのですが、どのような回答があったかというのは把握してまいりたいと思います。

なお、自由記述につきましては、項目ごとではありませんが、最後に取りまとめをしております。93 ページですが、市民活動・ボランティア活動に関するものについては、「機会があれば参加したい」、「自分の生活で参加できない」といったご回答が多くありました。そのほかの話としては、市民活動情報の発信についてであったり、このアンケート自体がボリュームが多かったこともありまして、アンケートに答えることが難しいといった内容もございました。

(関野委員) 「その他」なので、基本的には少数意見で、文句が言いたいだけの人もいらっしゃると思いますが、そこに関して強い関心を持っている方でないと、「その他」という項目はなかなか書かないかと思います。参考になるご意見があったら、そこは気にしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

(山岡委員長) ほか、いかがでしょうか。

(坂井副委員長) 大変興味深い結果だなと聞いておりました。全体として、認知は向上したけれども、参加は減っている。その中身は、「時間がない」というのが少し減っていて、そのかわりに「わからない」がふえている。このあたりは、このところワーク・ライフ・バランスとか言われていますから、そういうことで少し時間にゆとりができてきている面が反映したのかなと。だけど、市民活動等に対する認知、「中身がわからない」がふえているのかなと、ちょっと感想を持ちました。

どういうものを「参加」と言うのか、これは人によって感覚が違う面もあると思います。今回、行事への参加も参加であるとか、寄付も加えたとか、より回答しやすくなっているのかなと思いましたが、「参加」とは何か、今後アンケートをやるときによく考えて作り込んだほうがいいのかもしいかなと思いましたが、例えば、いろいろな活動の担い手になっている、主催者側といいますか、運営側にいることを「参加」と言うのか、単にサービスの受け手側であっても「参加」なのかということもあると思います。また、行事への参加はどうかということもあります。もちろん担い手がふえれば一番いいのですが、受け手側がふえても、それは活動への認知が向上することにつながるし、将来、自分が実際に活動をやることにもつながってくるので、その辺を意識した聞き方があるかと思います。

後ろのほうにボランティア活動の経験云々というがあるので、それがそういうこと

なのかもしれませんが、市民活動なり、そういうもののサービスを受けたことがあるとか、例えば子どもの居場所サービスがありますが、そういうところに子どもがお世話になっていけば、それは「参加」とは言わないのか。一定程度、市民活動にはかかわっていますよね。そういうところがわかってくると、後の具体的な施策を考えるときに、もっと参考になってくるのかなと思いました。

(山岡委員長) 今の坂井副委員長のご発言に事務局から何かあれば。

(事務局) 今回、聞いた項目の中に、参加したい分野などについては設問を設けましたが、次回以降、行うときには、市民活動というのかかわり方も本当に多様なので、おっしゃるとおり、参加するならどういう形での参加とか、どういう頻度であったり、どういう立場であったり、どういうものが望まれているのか、どういうことがしたいのかといったことも設問に含めていきたいなと思いました。ありがとうございました。

(山岡委員長) ほか、いかがですか。

(新實委員) 今回、「社会の一員として役に立ちたいから」とか、新しい項目が入ったことで、すごく詳しく、わかりやすくなったと思うし、回答者も答えやすくなったと思います。

先ほどおっしゃっていたのと同じことかもしれませんが、19 ページで、「地域活動への参加意向者」の「その他」が 28.6%というのはほぼ3割近い。この「その他」は見逃してはいけない項目ではないか。もしかしたら、「その他」を詳しく見れば、次のアンケートに項目を加えることができるのではないかと、とても気になる数字でした。

(事務局) おっしゃるとおり、「その他」のポイントがかなり高いこともございますし、自由記述に何か書いていただいているのであれば、そちらも今後の施策の参考にさせていただこうと思います。ご意見ありがとうございます。

(山岡委員長) ほか、どうでしょうか。見ていくといろいろ読み取れること、今後の参考になることもあると思いますが、もし何かお気づきのことがあれば。——よろしいですかね。

では、以上で議題としては終了したいと思います。今後も、この委員会の中でこのアンケート調査の結果は時々参照しながら議論しなければいけないものだと思いますので、しっかり読み込んでいきたいと思っております。

議題 (3) 令和6年度取組結果について

○事務局及び市民活動推進センター センター長 関野委員から、令和6年度取組結果について説明が行われた。

(山岡委員長) それでは、今の説明について、ご意見やご質問、確認しておきたいことなどございますでしょうか。量も多いですし、いろいろありますけれども、お気づきになったことでも何でも。

では、私から。ミライカナエルの事業を過去に行った団体で交流会をやったという報告がありましたよね。それは今後も続けていくのでしょうか。意味のあることだと思います。たまたまその年度と一緒にやった方は中間報告会などでつながりを持ったりできるけれども、年度が違うとなかなか会う機会もないので、そういう機会を、毎年ではなくても、継続的に持てるといいなと思いました。ことしやってみて今後のことはどんなふうにお考えか、何かあれば教えてください。

(事務局) 基本施策2-①のところでご紹介した、ミライカナエル活動サポート事業の補助終了後の採択団体さん向けの交流会の件です。こちらについては、また次回の委員会で、取組計画のところでも少しお話しできればと思うのですが、やっていきたいと考えております。

昨年度、トライアルで1回目をやって、今年度、もう一度トライアルということで2回目を行いました。トライアルの形にしたのは、ミライカナエル活動サポート事業の補助をもう終了している団体さんなので、こちらが「いついつやりますから出席してください」というふうにして強制的に参加させられているような形になるのも、支援として逆にいかがなものかというのもありまして、あくまでもニーズに応える形で開催したいということからトライアルでやってみました。

その結果、先ほどご報告いたしましたように、今年度は7団体、18人の方に参加していただきました。採択年度も、コースも、団体さんの活動経験も異なっていたのですが、フラットな場で非常に雰囲気よく情報交換されたり、それぞれのやっていることをお互い意欲的に話ししていらっしかったです。団体さんからは「今後もやっていきたい」というお声をいただいたので、事務局としては、令和7年度も情報交換の場を設けさせていただきたいと考えております。

(山岡委員長) ほか、いかがでしょうか。——よろしいですかね。

それでは、7年度の計画が出てきたときにまたこの資料を見る機会はあると思うので、何かお気づきのことがあればおっしゃってください。

以上で議題（3）を終了します。

議題（4）令和7年度藤沢市市民活動支援施設の重点取組目標（案）について

○市民活動推進センター センター長 関野委員から、令和7年度藤沢市市民活動支援施設の重点取組目標（案）について説明が行われた。

(山岡委員長) それでは、今の説明について、ご意見やご質問、確認などございますでしょうか。

(坂井副委員長) 説明ありがとうございました。よくわかりました。

今回のアンケート調査と関連づけて話をお聞きしますと、まず、市民活動支援施設の場合は、指定管理期間の柱が3つありまして、サービスを行う人向けの事業をやっているというのが1つ目に入っているの、ここで枠がはまっているのかなという感じもします。市民活動支援施設としての限界があるのかもしれませんが、要は、市民活動がわからないという人が多いですね、回答の中で。ですから、市民活動をしている人向けのいろんな施策だけでは限界があるのではないかということをちょっと感じたんです。重点目標として、市民自治推進課も含めてどうするかを考える話なんでしょうけれども、市民活動を市民に知ってもらう、そこを意識した活動が今後特に求められるのではないかなと思いました。ここに掲げられていることについて異存はありませんが、それだけでは足りないだろうなという気がしています。

市民活動がわからないと言っている人の中にはいろいろあって、実際は、関心がないというのも結構多いだろうと思うんですよ。関心がなければ、目の前に情報があっても気がつかない、そういう人が多いのだらうと思いますが、多少関心はあるけれども、どこにどういう情報があるかわからないという人もいるかもしれません。その辺は分析が必要ですが、いずれにしても、市民活動を市民に知ってもらうにはどうしたらいいのかというところを考えて、具体的な施策を打っていくことが求められてくるのではないかなと思いました。

(関野委員) まず、施設としての動きでどこまでできるかという話で言うと、どうしても条例上、仕様書上というところが出てきます。とはいえ、調査結果も気にしているあたりから察していただけるかと思いますが、市民に向けた動きは私どもも意識しております。ある意味、市民自治推進課さんとも妥協的にやっている部分ですけれども、交流機会提供事業に関しては、もともと団体同士の交流が仕様書上は重視されていますが、で

きる限り市民が参加しやすい形でやろうというのが昨年度と本年度の動きです。

それも今に始まったことではなくて、公民館に出張して交流機会提供事業をやっていたときも、別に団体の方に限っていたわけではなく、団体所属の有無は別として、地域に関心がある人という形でやっていました。どうしても仕様書の範囲内から解釈上許される程度という言い方になりますけれども、そこでの市民向けの事業をやっています。

それ以外ですと、市民自治推進課さんにもご協力いただいているのは、藤沢市としての資源を使った団体広報の支援で、パネル展示などの展示関連や動画周りについてはおつなぎいただいているので、使えるものがもっとふえるのであれば、こちらとしても、団体さんを巻き込んで、団体さんの露出機会をふやせればと考えております。

(山岡委員長) ほか、いかがでしょうか。

(森田委員) 仕様書上もあるかもしれませんが、担い手をふやすということは団体を支援することに直結するので、それはメインストリームとして捉えていただいているのかなと思います。

それから、露出をふやすというのは、画面だけではなくて、例えば市民まつりとか、藤沢市の駅前のいろんなイベントのときにブースを出すとか、もっとダイナミックな取り組みみたいなものも視野に入れていただけるといいのではないかと思います。

(関野委員) それも以前やっていたのですが、ブースが小さくなってできなくなったという事情もございます。法人のほうで秋葉台の会場にかかわりがあるので、市民まつりに関しては、秋葉台で団体さんがブースを出せるように毎年やっているところではあります。今年度はできませんでしたが、学校さんからお声がけがあった場合ですと、NPO見本市という形で、通っている学生さんに向けた団体の紹介ブースを出すような取り組みはしています。ただ、これに関しては当然、実施する学校さんの意向や予算が絡んできますので、それが無い年もどうしても出てしまうところです。

次年度重視する内容からすると、営業活動をしたほうがいいのではないかとすることは今ご説明した資料からも読み取れますので、ボランティア講座でお声がけしたときにその話もするなど、こちらからの積極的な営業を次年度は考えてもいいかなと思いました。

(山岡委員長) 今後、この計画書はどうなっていく流れですか。最初にちょっとお話があったかもしれませんが。

(関野委員) ここでご意見いただいたことはできる限り反映させていただいて、修正版を

3月の委員会で出す予定になっています。

(山岡委員長) わかりました。また何かお気づきのことがあれば。

私は、内容について別にどうこうはなくて、ただ、「2025年度は以下を念頭に」ということで書かれていることは結構大変だろうと思います。特に「地域のニーズを探り、可視化していく」、こういうことを支援施設としてやっていくのは本当に大切なことですけれども、なかなか難しいことだと思うので、大胆なといえますか、大変な目標を掲げてやっていかれるなど思いながら読みました。期待しております。よろしくお願いいたします。

特になければ、議題（4）を終了いたします。

議題（5）その他

(山岡委員長) 最後、議題（5）「その他」について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) それでは、事務局より次回の開催予定についてお伝えいたします。

今回は、3月7日（金）、午前10時からとなります。議題内容などの詳細につきましては、後日、開催通知でご案内させていただきますので、そちらでご確認くださいませようをお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

閉会

(山岡委員長) 本日の日程は全て終了となります。

以上をもちまして令和6年度第9回藤沢市市民活動推進委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

午前11時39分 閉会